

(写)

前橋市教育委員会告示第 15 号

前橋市教育委員会 10 月定例会を次のとおり招集します。

令和 8 年 10 月 15 日

前橋市教育委員会

教育長 山 中 茂 樹

記

1 日 時 令和 8 年 10 月 15 日 (木) 午後 2 時 30 分

2 場 所 市役所 11 階北会議室

3 付議事件

(1) 議案第 21 号 令和 7 年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について

令和8年10月定例教育委員会提出事項

1 教育長報告

- (1) 総括的報告
- (2) 令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

2 提出議案

- (1) 議案第21号 令和7年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について

3 その他

- (1) 行事について（総務課）
- (2) 令和8年度学区別教育懇話会実施結果について（学務管理課）
- (3) まえばし学校フェスタ2026について（学務管理課）
- (4) 滝窪小金丸分校適正規模合同地区委員会報告書の提出について（学務管理課）
- (5) 前橋市高校生学習室運営業務に係る公募型プロポーザルの実施について（生涯学習課）
- (6) セミナー「人生100年時代の学びと人づくり」について（生涯学習課）

教 育 長 総 括 的 報 告

令和 8 年 1 0 月 1 5 日 (木)
午後 2 時 3 0 分
教育委員会 1 0 月 定例会

- 1 まえばし学校教育充実会議
1 0 月 2 日 (金) 1 5 : 0 0 ～ 総合教育プラザ
- 2 中学校駅伝競技大会
1 0 月 3 日 (土) 1 0 : 0 0 ～ 群馬電工陸上競技場 (市総合運動公園)
- 3 前橋市交通指導員表彰式
1 0 月 9 日 (金) 1 4 : 0 0 ～ 市役所 1 1 階南会議室

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

2 実施日 令和 8 年 4 月 23 日（木）

3 対象 小学校 6 年生、中学校 3 年生

4 調査内容 小学校（国語・算数・児童質問） 中学校（国語・数学・英語・生徒質問）

5 学校数 小学校 46 校 中学校 20 校 （全校実施）

6 結果

【教科に関する調査】平均正答率及び I R T スコアの比較

小学校	本市	全国	群馬県
国 語	○	60.9 %	61 %
算 数	=	56.4 %	54 %

※○は全国を上回る =は全国と同等

中学校	本市	全国	群馬県
国 語	○	63.9 %	65 %
数 学	○	57.0 %	57 %
英 語	○	499	505

※中学校英語は I R T スコア

【各教科の主な成果と課題】

小学校 国語	成果	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることはできている
	課題	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある
中学校 国語	成果	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことはできている
	課題	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある
小学校 算数	成果	立方体の体積の計算による求め方について理解している
	課題	異分母の分数の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある
中学校 数学	成果	具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることはできている
	課題	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある
中学校 英語	成果	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることはできている
	課題	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることに課題がある

1. 平均正答率

全 国

60.9%

群馬県

61%

本 校

全国とほぼ同等

2. 全国及び本市の傾向（◇…比較的できている点 ◆…課題のある点〔 〕内は、問題番号）

〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉

◇ 話や文章の種類とその特徴について理解することはできている。〔3一〕

◆ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことに課題がある。〔1二(3)〕

〈情報の扱い方に関する事項〉

◆ 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することに課題がある。〔2二〕

◆ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。〔3二〕

〈話すこと・聞くこと〉

◇ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることはできている。〔1一〕

〈書くこと〉

◆ 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。〔2四〕

〈読むこと〉

◇ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることはできている。〔3三(2)〕

◆ 目的に応じて、必要な情報を見付けることに課題がある。〔3三(1)〕

3. 本校の主な成果

○分かりやすい話の構成を考える力

相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える力が伸びています。

○情報の関係を理解する力

考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるようになってきています。

○読解したことを基にした記述力

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力が伸びています。

4. 本校の主な課題

○複数のメディアから情報を読み解く力

映像と音声を活用するなどして、考えが伝わるように工夫した表現を読み解く力に課題があります。

○豊かな言語感覚の育成

比喩などの表現の工夫について、意味を読み取ったり、良さや効果に気付いたりする力を高める必要があります。

○展開の工夫を理解する力

文章内容の読み取りを受けた、文章全体の構成や展開の工夫について理解する力に課題があります。

5. 学力向上及び授業改善に向けた取組

○複数の情報を関連付けて読み取る指導

映像と説明のつながりや意図を比較・検討させ、表面的な理解にとどまらない情報活用能力を育てます。

○言語表現の良さを知り言語感覚を豊かにする指導

様々な言語表現に触れ、その意味を読み取ったり、良さや効果に気づいたりする力を高めます。

○文章の様々な展開の工夫を理解する読解指導

文章の全体の構成に着目させ、個々の言葉にとどまらない様々な展開の工夫を理解する力を培います。

6. 参考資料

調査問題	正答例	解説資料
		

1. 平均正答率

全 国 56.4%

群馬県 54%

本 校 全国をやや下回る

2. 全国及び本市の傾向（◇…比較的できている点 ◆…課題のある点〔 〕内は、問題番号）

〈数と計算〉

- ◇ 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることはできている。〔3(1)〕
- ◇ 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることはできている。〔4(2)〕
- ◆ 異分母の分数の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。〔3(3)〕

〈図形〉

- ◆ 直方体の箱の形を構成する面について理解することに課題がある。〔1(2)〕
- ◆ 体積の意味について理解することに課題がある。〔1(3)〕
- ◆ 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を記述することに課題がある。〔1(4)〕

〈測定・変化と関係〉

- ◆ 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることに課題がある。〔2(2)〕
- ◆ 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断することに課題がある。〔2(3)〕
- ◆ 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことに課題がある。〔2(4)〕

〈データの活用〉

- ◇ 帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることはできている。〔4(4)〕
- ◆ 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見つけ、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述することに課題がある。〔4(1)〕
- ◆ 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。〔4(3)〕

3. 本校の主な成果

算数に関する基礎基本の力がついてきています。

- 基本図形の体積を求める力
立方体の体積の計算による求め方について理解することができるようになってきています。
- 概数についての理解
数を四捨五入して、概数で表すことができるようになってきています。
- 小数の計算力
整数と小数の減法の計算をすることができるようになってきています。

4. 本校の主な課題

- 問題に示された条件や情報の理解
日常生活の問題を解決するために、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述する力に課題があります。また、示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることに課題があります。

- 数や数直線の仕組みの理解
単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることに課題があります。

5. 学力向上及び授業改善に向けた取組

- 算数的読解力を高める指導
問題で求められていること、与えられた情報や条件について、不要な情報を選別したり、図や式、具体物に置き換えたりして、正しく理解する力を育てます。

- 数や数直線の仕組み理解の段階的な指導
数の中でも特に「1」について、具体的な1つのもの（個数）から、抽象的な数としての概念、さらには「全体を1とみる（単位量）」という相対的な見方まで段階的に理解が深められるように指導します。また、「等分」や数直線の仕組みについても、各学年ごとに必要な理解が進めていけるように指導します。

6. 参考資料

調査問題	正答例	解説資料
		

【地域・保護者用】

令和8年度全国学力・学習状況調査 質問調査より

～子供たちの安心感と豊かな学びに向けて～

小学校

○…主なよい点

●…主な改善点

☆…ご家庭へのお願い

・…学校の取組

1. 生活習慣について



- 全ての児童が、朝食を食べており、就寝時刻や起床時刻がほぼ決まっています。
- ☆今後とも子供たちの心身の成長のために、ご家庭でのご支援をお願いします。
- 1日3時間を超えてスマートフォン等を使用している児童が約半数います。
- ・学校では端末の適切な使用について情報を伝えていきます。
- ☆ご家庭でも、使うときの約束を決めるなどのご支援をお願いします。

2. 学習習慣について



- 全体の6割の児童が、平日の学習時間が1時間未満と答えています。
- 全体の6割の児童が、休日の学習時間が1時間～2時間、2時間～3時間と答えています。
- 一方で4割の児童が、休日の学習時間が1時間未満・全くしないと答えています。
- ・学校では、家庭学習の進め方についての指導を進めてまいります。
- ☆ご家庭でも、ルールづくりや温かい声掛けなどのご協力をお願いします。

3. 自己有用感について



- 全ての児童が、学校は楽しく、友達関係に満足していると答えています。
- 多くの児童が学校の勉強のことについてご家庭で話しており、悩みについても6割の児童がご家庭で話していると答えています。
- ・学校では引き続き、児童の表情や行動など小さな変化を見逃さないよう配慮し、寄り添った対応を充実させます。
- ☆ご家庭でも引き続き、日頃の出来事や気持ちについて自然に話題にできるような、温かい関わりや見守りをお願いします。

4. 向社会性について



- 全ての児童がいじめはいけない、人の役に立つ人間になりたいと考えています。また、全ての児童が人が困っているときは、進んで助けていると答えています。
- ・学校では引き続き、道徳や学級活動の時間を中心に、道徳性の育成に努めていきます。
- ☆ご家庭でも引き続き、日常のお手伝いなどに「ありがとう」「助かったよ」と声をかけ、「人の役に立つ喜び」を感じられる機会づくりにご協力をお願いします。

5. 上記以外について



- 全ての児童がICT機器を活用して情報の収集や文章の作成、プレゼンテーションの作成ができると答えています。
- 多くの児童が授業以外で英語に触れる機会がないと答えています。
- ・学校ではICTを活用した英語学習の方法について指導を進めてまいります。
- ☆ご家庭でも学校で学習した英語表現について話題にしたり、映像や音声で英語に触れる機会を設けたりするなどのご協力をお願いします。

6. 参考資料

児童質問調査（小学校）



生徒質問調査（中学校）



1. 生活習慣に関わる質問（肯定的な回答の差など）

質問番号		質問事項	全国	前橋市
(1)	朝食を毎日食べていますか		93.3	全国をやや上回る
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		82.8	全国とほぼ同等
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか		90.7	全国とほぼ同等
(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）	3時間以上	37.6	全国を下回る
		2～3時間	20.0	全国とほぼ同等
		1～2時間	20.9	全国をやや上回る
		30分～1時間	11.0	全国をやや上回る
		30分未満・所持無し	10.2	全国をやや下回る
所感				
(1)～(3)の結果から、規則正しい生活習慣が概ね定着している様子が窺える。クロス集計より、規則正しい生活習慣が定着している児童ほど国語・算数の正答率が高い傾向があると言える。また(4)の結果から、スマートフォン等の使用時間が全国の傾向より短い時間に抑えられていることが窺える。クロス集計より、使用時間が2時間を超え、その使用時間が長い児童ほど国語・算数の正答率が低くなる傾向があると言える。				

2. 学習習慣に関わる質問

質問番号	質問事項		全国	前橋市
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上	21.6	全国を下回る
		1～2時間	28.3	全国とほぼ同等
		30分～1時間	29.1	全国を上回る
		30分以下・全くしない	20.2	全国とほぼ同等
(25)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	3時間以上	9.6	全国を下回る
		2～3時間	7.5	全国とほぼ同等
		1～2時間	21.9	全国とほぼ同等
		1時間以下・全くしない	48.7	全国を上回る
所感				
(23)の結果から、平日の家庭学習の習慣化には至っていない児童が多いと考えられる。クロス集計より、平日の学習時間が1時間以上の児童で国語・算数の正答率が高い傾向にあると言える。また(25)の結果から、休日においても家庭学習の習慣化には至っていない児童が多いと考えられる。クロス集計より、休日の学習時間が2時間以上の児童で国語・算数の正答率が高い傾向にあると言える。				

3. 自己有用感に関わる質問（肯定的な回答の差）

質問番号	質問事項	全国	前橋市
(6)	学校の勉強のことに、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	75.0	全国とほぼ同等
(7)	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	35.5	全国をやや上回る
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	85.6	全国をやや上回る
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.4	全国とほぼ同等
(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	70.6	全国を下回る
(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.7	全国とほぼ同等
(17)	友達関係に満足していますか	91.1	全国とほぼ同等
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	69.6	全国を下回る
(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.5	全国とほぼ同等
所感			
自己有用感に関する質問については、概ね全国と同等の結果であると考えられる。(13)(20)の結果からは、困りごとや不安なことについて大人に相談しにくいと感じる児童が多く、学級においても人と異なる意見を言いにくいなど、児童の心理的安全性の確保に関して課題がみられる。			

4. 向社会性に関わる質問（肯定的な回答の差）

質問番号	質問事項	全国	前橋市
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.7	全国とほぼ同等
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.2	全国とほぼ同等
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.8	全国とほぼ同等
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	80.1	全国をやや上回る
所感			
向社会性に関する質問については、概ね全国と同等の結果であると考えられる。			

5. 本市において特徴のみられる回答（肯定的な回答の差）

質問番号	質問事項	全国	前橋市
(38)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	66.4	全国を上回る
(47)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	79.9	全国を上回る
(48)	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	79.7	全国を上回る
(35)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	43.0	全国を下回る
所感			
(38)の結果から、自分の考えが相手に伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する児童が多いと考えられる。クロス集計より、相手に伝わるよう工夫している児童で国語・算数の正答率が高い傾向にあると言える。(47)(48)の結果から、総合的な学習の時間においてICT機器を適切に使用しながら、自分で課題を立て、情報収集を行い、整理分析し、発表するなど、主体的に探究を行う児童が多いと考えられる。一方、(35)の結果から、日常の授業でのICT機器の活用には課題が見られる。クロス集計より、ICT機器を適切に活用した授業を受けた頻度が多い児童ほど、国語・算数の正答率が高い傾向にあると言える。			

1. 生活習慣に関わる質問（肯定的な回答の差など）

質問番号	質問事項		全国	前橋市
(1)	朝食を毎日食べていますか		90.9	全国をやや上回る
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		80.5	全国とほぼ同等
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか		92.4	全国とほぼ同等
(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）	3時間以上	49.6	全国を下回る
		2～3時間	25.3	全国を上回る
		1～2時間	16.9	全国を上回る
		30分～1時間	5.1	全国とほぼ同等
		30分未満・所持無し	2.9	全国とほぼ同等
所感				
(1)～(3)の結果から、規則正しい生活習慣が概ね定着している様子が窺える。クロス集計より、規則正しい生活習慣が定着している生徒ほど国語・数学・英語の正答率が高い傾向があると言える。また(4)の結果から、スマートフォン等の使用時間が全国の傾向より短い時間に抑えられていることが窺える。クロス集計より、使用時間が2時間を超え、その使用時間が長い生徒ほど国語・数学・英語の正答率が低くなる傾向があると言える。				

2. 学習習慣に関わる質問

質問番号	質問事項		全国	前橋市
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上	30.1	全国をやや下回る
		1～2時間	31.5	全国をやや上回る
		30分～1時間	19.5	全国とほぼ同等
		30分以下・全くしない	18.4	全国とほぼ同等
(25)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	3時間以上	13.1	全国とほぼ同等
		2～3時間	16.8	全国を上回る
		1～2時間	22.6	全国をやや上回る
		1時間以下・全くしない	34.8	全国とほぼ同等
所感				
(23)の結果から、平日の学習時間がやや少ない傾向にある生徒が多いと言える。クロス集計より、平日の学習時間が1時間以上の生徒で国語・数学・英語の正答率が高い傾向にあると言える。また(25)の結果から、休日においても家庭学習の習慣化には至っていない生徒が全体の3割程度いる（全国の無回答率が多く比較不可）。クロス集計より、休日の学習時間が3時間以上の生徒で国語・数学・英語の正答率が高い傾向にあると言える。				

3. 自己有用感に関わる質問（肯定的な回答の差）

質問番号	質問事項	全国	前橋市
(6)	学校の勉強のことに、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	72.2	全国とほぼ同等
(7)	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	36.4	全国とほぼ同等
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	84.0	全国とほぼ同等
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	90.9	全国をやや下回る
(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	71.9	全国を下回る
(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.4	全国とほぼ同等
(17)	友達関係に満足していますか	91.2	全国をやや下回る
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	67.5	全国をやや下回る
(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	91.0	全国とほぼ同等
所感			
自己有用感に関する質問については、肯定的な回答をした生徒の割合が全国を下回っている質問事項が多い。(13)(20)の結果からは、困りごとや不安なことについて大人に相談しにくいと感じる生徒が多く、学級においても人と異なる意見を言いにくいなど、生徒の心理的安全性の確保に関して課題がみられる。			

4. 向社会性に関わる質問（肯定的な回答の差）

質問番号	質問事項	全国	前橋市
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか	90.8	全国をやや上回る
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.1	全国とほぼ同等
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	全国とほぼ同等
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	72.3	全国をやや上回る
所感			
向社会性に関する質問については、概ね全国と同等の結果であると考えられる。			

5. 本市において特徴のみられる回答（肯定的な回答の差）

質問番号	質問事項	全国	前橋市
(38)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	65.5	全国を上回る
(47)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	80.8	全国を上回る
(48)	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	81.7	全国を上回る
(35)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	55.1	全国を下回る
所感			
(38)の結果から、自分の考えが相手に伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する生徒が多いと考えられる。クロス集計より、相手に伝わるよう工夫している生徒で国語・数学・英語の正答率が高い傾向にあると言える。(47)(48)の結果から、総合的な学習の時間においてICT機器を適切に使用しながら、自分で課題を立て、情報収集を行い、整理分析し、発表するなど、主体的に探究を行う生徒が多いと考えられる。一方、(35)の結果から、日常の授業でのICT機器の活用には課題が見られる。クロス集計より、ICT機器を適切に活用した授業を受けた頻度が多い生徒ほど、国語・数学・英語の正答率が高い傾向にあると言える。			

教育委員会議案第 2 1 号

令和 7 年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条第 1 項の規定に基づき、令和 7 年度前橋市教育委員会事務点検・評価報告書を次のとおり決定しようとする。

令和 8 年 1 0 月 1 5 日提出

前橋市教育委員会

教育長 山 中 茂 樹

1 学校教育分野 基本理念「生きる力を育む学校教育の充実」

(1) 義務教育

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
学校力を高める学校経営	1	一人一人がチームの一員として参画する学校づくり	学校評価アンケートを活用した学校教育活動の充実・支援 学校裁量予算制度の効果的・効率的な運用	B	(B)	学校教育課	13
	2	地域の教育力を生かした教育の推進	学校の運営や必要な支援について協議するコミュニティ・スクールの推進	B	(B)	学務管理課	15
	3	校務の効率化	1人1台端末を最大限活用した校務の効率化の推進 小学校教科指導講師・校務補助員の配置	B	(B)	学務管理課 学校教育課	17
魅力あふれる教育活動	4	学び続ける力の育成	主体的・対話的で深い学びの実現 ICTを活用した新たな価値を見出す授業づくりの推進	B	(B)	学校教育課	19
	5	豊かな人間性の育成	「考え、議論する道徳」の授業づくりについての指導・助言及び人権教育研修、人権教育授業研修等における同和問題等をはじめとする人権教育の推進	B	(B)	学校教育課	21
	6	健康増進・体力の向上	児童生徒の望ましい生活習慣の定着に向けた家庭と連携した指導の充実	B	(B)	総務課 学校教育課	23
	7	自立性・社会性の育成	発達段階に応じた取組を支援するキャリア教育の推進	B	(B)	学校教育課	25

(2) 高校教育

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
学校力を高める学校経営	8	課題の解決に向けて機能する学校運営	課題に的確に対処する学校運営の推進	B	(B)	市立前橋高等学校	27
	9	教職員の資質・能力の向上を通じた指導力の育成	研修等への積極的な参加と成果の共有	B	(B)	市立前橋高等学校	29
	10	生徒指導の充実と良き校風の樹立・継承	組織的な生徒指導の充実と規律ある生活習慣の確立	B	(B)	市立前橋高等学校	31
	11	地域とつながる学校づくり	市民との交流機会の充実による地域とつながる学校づくりの推進	A	(A)	市立前橋高等学校	33
魅力あふれる教育活動	12	特色あるカリキュラムと進路指導の充実	特色ある進路指導、探究学習の充実	A	(B)	市立前橋高等学校	35
	13	部活動の指導の充実	部活動の指導の充実	B	(B)	市立前橋高等学校	37

(3) 幼児教育

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
保育の充実を目指す幼児教育の推進	14	幼児教育の充実	質の高い幼児教育を推進するための研修会の充実	B	(B)	教育支援課	39
	15	保幼小連携の推進	幼児教育と小学校教育の接続・連携に関する研修会の充実	B	(B)	教育支援課	41

(4) 特別支援教育

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
特別支援教育及び教育相談機能の充実	16	特別支援教育の充実	一人一人の子供の個性や特性に応じた特別支援教育の充実	B	(A)	教育支援課	43

(5) 教職員育成

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
教職員研修、実践的研究機能の充実	17	教職員研修の充実	確かな授業力や経営力を身に付けるための研修の充実	A	(A)	学校教育課 教育支援課	45
	18	実践的研究の推進	学校現場と連携した実践的研究の充実 研究成果の市内各学校への還元強化	A	(A)	学校教育課	47

2 青少年教育分野 基本理念「人間性豊かな青少年の育成」

(1) 地域健全育成

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
地域健全育成活動の充実	19	地域の人たちによる体験・交流活動を通じた地域健全育成活動	自ら考え進んで活動する主体的な青少年の育成 生まれ育った地域を誇りに思える青少年の育成	B	(B)	生涯学習課	49
	20	放課後の子供の居場所の充実	地域と連携した安全安心かつ健全な成長を育む遊び場の充実	B	(B)	学務管理課	51
国際理解教育活動の充実	21	国際理解教育活動の充実	オンライン等を活用した新たな国際交流の検討・推進	B	(B)	学務管理課 学校教育課	53

(2) 生徒指導と教育相談

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
学校の健全育成活動と、子供をめぐる問題解決への支援の充実	22	学校支援体制の充実と問題行動の防止	児童生徒に寄り添った校内支援体制の充実	A	(B)	教育支援課	55
	23	子供の被害防止活動の充実	不審者による被害防止、ネットトラブルの未然防止、虐待の早期発見に向けた各種体験教室の充実と課題意識の醸成	B	(B)	教育支援課	57
	24	不登校対策の充実	社会的自立・学校復帰に向けた教育支援教室の拡充と充実	A	(B)	教育支援課	59
	25	いじめ対策の充実	児童生徒主体のいじめ防止活動の促進	A	(A)	教育支援課	61

(3) 体験的な学び

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
交通安全・天文・環境教育の充実	26	交通安全・天文・環境教育の充実	危険予測・回避能力を育む交通教室の充実 知的好奇心を高める天文教室・環境教室の充実	A	(A)	教育支援課	63
科学・文化芸術教育活動の充実	27	各種クラブ活動・教室の充実	多様な体験活動の中で主体性を育む各種クラブ活動・教室の充実	A	(A)	教育支援課	65

3 社会教育分野 基本理念「心豊かな前橋の文化の創造」

(1) 生涯学習

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
「主体的な学び」の継続につながる学習期間の提供	28	子育て・親子支援の充実	子育てに関する学習機会の充実	B	(B)	生涯学習課	67
公民館・コミュニティセンターの充実	29	公民館及びコミュニティセンターにおける社会教育事業の充実	地域課題や市民ニーズに対応した多様な魅力ある学びの場の充実	B	(B)	生涯学習課	69
地域で活躍する人材の育成と活用	30	地域の人材育成と活用	自己有用感を高める主体的な地域活動への参加促進	A	(B)	生涯学習課	71
	31	青少年の育成推進	高校生学習室を活かした地域人材の育成推進	A	(A)	生涯学習課	73

(2) 図書館

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
知的活動を支援する図書館の充実	32	暮らしを支えるサービスの充実	デジタル技術を活用したサービスの充実	A	(B)	図書館	75
	33	文化事業の推進	郷土を思う心を育む郷土資料展示や講演会等の充実 貴重資料の電子化と国・県重要文化財指定に向けた取組の推進	A	(B)	図書館	77
	34	子ども読書活動の推進	市民との協働による家庭や学校、地域で子供たちの読書活動を広げる取組の推進	B	(C)	図書館	79
	35	図書館運営への市民参加の促進	図書館サポーターの積極的な活用による魅力ある図書館づくりの推進 多様な世代の市民との協働による開かれた図書館づくりの推進	A	(A)	図書館	81

(3) 文化財

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
未来へ繋ぐ文化財等の保護と活用	36	文化財等に親しみ、郷土への愛着の心の未来への継承	日常的に文化財や伝統文化に親しめる機会の充実	A	(A)	文化財保護課	83
	37	未来へ繋げる人づくり、学びの場の構築と文化財の普及啓発	文化財に関する知識・能力を習得できる機会の充実	A	(A)	文化財保護課	85
	38	郷土の魅力の発見と新たな創出	世代を超えて文化遺産や伝統文化を継承する体制整備の強化	A	(A)	文化財保護課	87
	39	市民ボランティアとの連携、円滑な協働体制づくり	文化財の市民解説ボランティア等の育成と体制づくりに向けた支援の強化	A	(A)	文化財保護課	89

4 教育環境整備分野 基本理念「『学び』『創造』『交流』の場としての教育環境づくり」

(1) 教育施設整備

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
個人と社会のウェルビーイングをつなぐ教育環境づくり	40	学校教育施設の快適性向上	児童生徒が安全かつ快適に過ごせる教育環境の整備	A	(A)	教育施設課	91
	41	学校教育施設のバリアフリー化推進	児童生徒にとって障害が学校生活の支障とならない教育環境の整備	A	(A)	教育施設課	93
	42	青少年教育施設の管理と整備	子供たちの学びの場・多世代間交流の場としての児童文化センター機能を維持するための適正な維持管理と計画的な施設改修	A	(A)	教育支援課	95
	43	社会教育施設等の整備	市民が安心快適に利用できる公民館・コミュニティセンターの適正な維持管理と長寿命化計画に基づく計画的な施設整備の推進 対話による多様な学びがある知のひろばとなる図書館の実現	A	(B)	生涯学習課 図書館	97
	44	文化財施設の整備	歴史や伝統文化などの特色を活かした文化財施設の適正な維持管理	A	(A)	文化財保護課	99
	45	総合教育プラザの管理と整備	幼児相談やプラザ相談室、教員研修など多種多様な教育関連事業を推進するための施設維持管理と改修・改善	B	(B)	教育支援課	101

(2) 学校給食

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
子供たちの健やかな成長を育む学校給食の充実	46	学校給食を要した食育の充実	学校給食を要とした食育の充実	B	(B)	総務課 学校教育課	103
	47	安全・安心でおいしい学校給食の安定供給	学校給食衛生管理基準に基づく給食施設・設備等の計画的な整備	B	(B)	総務課	105

(3) 教育振興基金

基本方針	No.	施策の目標	重点施策	評価	(前回評価)	所属	頁
市民や企業からの寄附によって支えられる教育振興基金の充実	48	教育振興基金の充実	教育振興基金のPR強化	A	(A)	総務課	107

	総合評価 A	総合評価 B	総合評価 C	総合評価 D
1 学校教育分野	4 (4)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
2 青少年教育分野	5 (3)	4 (6)	0 (0)	0 (0)
3 社会教育分野	9 (6)	3 (5)	0 (1)	0 (0)
4 教育環境整備分野	6 (5)	3 (4)	0 (0)	0 (0)
	24 (18)	24 (29)	0 (1)	0 (0)

() は前回評価

教育委員会11月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	日	まえばし図書館まつり:企画展示(8/12～12/20) 「つる舞う形のふるさと-第二次群馬県150周年-」	9:00～19:00 (土日祝:10:00～17:00)	図書館本館2階展示室	図書館
2	月	第73回前橋市児童生徒音楽会	9:40～11:30 13:40～15:40	昌賢学園まえばしホール	学校教育課
3	火	こども秋まつり	9:00～16:00	児童文化センター	教育支援課
		まえばし図書館まつり(高校連携事業):市立前橋高等学校演劇部 公演「アルプススタンドのはしの方」	開場14:30 15:00～16:00	図書館本館3階視聴覚室	図書館
4	水				
5	木	まえばし図書館まつり:赤ちゃんと映画鑑賞「そして父になる」	開場13:00 14:00～16:15	図書館本館地下講堂	図書館
6	金				
7	土	まえばし図書館まつり:朝活図書館	8:00～10:00	図書館本館2階	図書館
		まえばし図書館まつり(高校連携事業):勢多農林高等学校「ふれあいミニ動物園」	10:00～12:00	図書館本館	図書館
		まえばし図書館まつり:新本館にむけたまなびば・多文化サービス 特別講座「北欧の海賊・ヴァイキングが英雄を変えた!!～英語の「なぜ?」を歴史からひもとく②～」	10:30～12:00	図書館本館地下講堂	図書館
8	日	前橋市児童生徒理科研究発表会	9:30～13:00	前橋工科大学	学校教育課
9	月				
10	火				
11	水				
12	木				
13	金				
14	土	中学生・多様な学びの日 まえばし学校フェスタ2026	10:00～16:00	ミヤケン元気21	学務管理課
15	日	中学生・多様な学びの日 まえばし学校フェスタ2026	10:00～16:00	ミヤケン元気21	学務管理課
16	月				
17	火	教育委員会定例会	14:30～15:30	市役所11階北会議室	総務課
		里山学校(こども天文教室)	18:00～20:00	富士見公民館	教育支援課
18	水	新出土文化財展	平日:9:00～19:00 土日:10:00～17:00	図書館本館2階	文化財保護課
19	木	教育文化功労者表彰	14:00～15:00	市役所11階北会議室	総務課
20	金				
21	土	前橋市郷土芸能大会	13:00～16:00	昌賢学園まえばしホール	文化財保護課
22	日				
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金				
28	土	中学生・多様な学びの日			
29	日	中学生・多様な学びの日			
		人生100年時代の学びと人づくり ～社会教育士を知る集い～	12:00～17:00	中央公民館3階ホール、ホワイエ	生涯学習課
30	月				

令和 8 年度 学区別教育懇話会 実施結果について

(1) 趣 旨

学区別教育懇話会は、市内 7 学区（学区別）において開催し、単位 P T A 活動の充実・活性化の指針を見出すことをねらいとし、「こどもと一緒に育もう、こころの豊かさたくましさ」をスローガンに、こどもの生きる力を育てるために、家庭や学校では何をなすべきか、地域とどのように連携していくか、そのために P T A として何ができるのか等について協議し、取組を進めていくものとする。

教育懇話会では、教育長、教育委員及び教育委員会事務局関係者が出席し、学校や保護者と意見交換を行うことで、三者の連携を深め、本市の教育の充実を図る。

(2) 参加者

各学区単位 P T A 代表者、各校管理職、市 P T A 連合会役員、教育長、教育委員、教育委員会事務局関係者

(3) 開催日程 7 月から 8 月の 7 日間

(4) 各学区別教育懇話会のテーマ、話し合った内容

学区	開催日・会場	所属校	懇話のテーマ	主な内容
1	8 月 27 日 (木) 第四コミュニティセンター	桃井小、中川小、城南小、城東小、若宮小、附属小、一中、みずき中、附属特別支援	意見を表し、社会に参加する権利 こどもが社会に参加するために	○（こども視点で）こどもが社会に参加するために必要なこと ・社会へ参加することの楽しさを知る。物事が変わる経験や多様な出会いや経験をする。 ・意見を発信する力と傾聴する力を養う。失敗ややり直しが許容される雰囲気の中、豊かなアウトプットをする。 ○（大人視点で）この権利を守るために大人に何ができるのか。 ・人と人のつながりを意識した、社会に参加する機会や場面をつくる。 ・こどもの気持ち、考えに耳を傾ける。一人の人格として尊重し、こどもの小さな変化を見逃さない。
2	8 月 28 日 (金) 富士見公民館	敷島小、岩神小、細井小、桃川小、荒牧小、原小、時沢小、石井小、白川小、三中、南橘中、鎌倉中、富士見中	自分を守り、守られる権利 S N S、ネット社会から子どもの権利を守るために、家庭、学校ができること	○こどもたちにどんなリスクがあり、こどもたちを守るためにどんなことができるか。 ・保護者はフィルタリングをかけ、使う時間を決めることが大切だ。 ・上手な付き合い方を教え、ルールはこどもたちと一緒に考えるようにする。 ・学校も保護者も正しい知識が必要であり、S N S によるコミュニケーション不足を補い、人と関わる楽しさ、充実感を育てる。 ・知識、ルール、対話、実体験をとおして自ら判断する力を育てていくことが必要だ。

3	7月27日 (月) K'BIX まえばし 福祉会館	天川小、広瀬小、 山王小、わかば 小、上川淵小、下 川淵小、 五中、七中、明桜 中	意見を表し、 社会に参加す る権利	○こどもたちの権利を守るためにどんなことができるか。 ・こどもが活躍する機会が減っているので、学校行事やイベントでこどもたちが発案する権利や場を与えるのはどうか。 ・こどもが自分の意見を言えない環境になりつつある。こどもだけで話し合う場やこどもだけの授業の時間があってもよいのではないか。 ・大人が先回りして失敗しないようにしてしまう。失敗しても大丈夫という経験をさせる。 ・こどもの声を聴き、反映させていくためには、こどもが安全に意見を言えるような心理的安全な場所をつくる。
4	7月21日 (火) 清里公民館	総社小、勝山小、 東小、元総社小、 元総社南小、元総 社北小、大利根 小、新田小、清里 小、 六中、元総社中、 東中、箱田中	こどもが安心 して自分らしく 生きるために私 たちができるこ と	○こどもが安心して自分らしく生きるために私たちにできることは何か。 ・こどもも大人も忙しく、向き合う時間が減っている。こどもと対話する時間を意図的に設ける。 ・望ましい人間関係づくりができるように、学校や地域での居場所づくりをする。 ・SNSや動画からの有害な情報からこどもたちを守るために、こどもと話し合いながらルールを決める。 ・こどもが自主的に行う活動を増やすために、大人は黒子となり、こどものやりたい活動を支える。
5	7月30日 (木) K'BIX まえばし 福祉会館	桂萱小、桃木小、 桂萱東小、桃瀬 小、芳賀小、 桂萱中、芳賀中、 附属中、前橋特別 支援	こどもの「安 心して生きる 権利」を支え るために 前橋市こども 基本条例から 考える私たち 大人ができる こと	○私たち大人ができること ・人とのつながりの機会を増やし、お互いを信頼し、思いやり、よく話を聞き、伝え合う時間をつくるのが大切なのではないか。 ・親と子でかかわる時間が減ってきている。親子ともに時間に余裕をもつことが難しくなっている。 ・SNSの使い方を始め、相手を傷つけない言葉の使い方について考えさせなければならない。 ・個性が認められ、人格を尊重してあげることにより、こどもの幸せの追求につながるのではないか。
6	7月7日 (火) 城南公民館	永明小、駒形小、 荒子小、大室小、 二之宮小、筑井 小、 木瀬中、荒砥中	こどもにとっ て必要な情報 とは	○こどもたちが必要な情報を自ら判断し、積極的に取り入れるようになるためには必要なことは何か。 ・本やテレビ以外にも多様な方法で情報収集できるようになったのはよいが、その中でも他者との対話で得る情報や体験を通して得る情報は大事である。 ・よく考えて情報を選ぶ力や情報の善悪を判断する力をつけることが重要である。 ・情報を上手に受信・発信する力をつけることだけでなく、親子のふれあいの時間も必要である。自己肯定感を高める取組や失敗の許される環境づくりも重要である。

7	7月8日 (水) 粕川公民館	大胡小、大胡東小、滝窪小、金丸分校、宮城小、粕川小、月田小、大胡中、宮城中、粕川中	「豊かで健やかに育つ権利」について考える。 こどもの尊厳を守り、愛情をもって育てるためにできること ○こどもの尊厳を守り、愛情をもって育てるためにできることは何か。 ・こどもの話を最後までしっかり聞き、傾聴をする時間を確保する。 ・こどもが失敗しても責めず、それが許される環境をつくる。 ・時間と心にゆとりをもち、こどもに言葉をかけるときの言葉遊びをすること。 ・こどもが自分で決める場を増やすことも大切。 ・こどもも大人も考える時間を確保することが大切。 ・子育てを孤立させないように、地域と保護者のつながりを深めることも大切。
---	----------------------	---	---

「まえばし学校フェスタ 2026」概要

～来て！見て！感じて！わたしたちの学校文化！～

1 趣 旨

- 各学校園の教育活動の成果（学校文化）を広く保護者や市民に知らせる機会とする。
- こどもたちが、互いの発表を見たり、作品等に触れあったりすることを通して、学校園で育まれる文化に気づく場とする。

2 主 催 前橋市教育委員会

3 共 催

前橋ロータリークラブ	前橋西ロータリークラブ
前橋東ロータリークラブ	前橋北ロータリークラブ
前橋南ロータリークラブ	前橋中央ロータリークラブ

4 開催日時 令和 8 年 1 1 月 1 4 日（土）～ 1 5 日（日） 1 0 時～ 1 6 時

5 会 場 ミヤケン元気 2 1（前橋プラザ元気 2 1） 1 階～ 3 階

6 内容及び参加状況

＜ステージ発表＞（小学校 5 校、中学校 2 校、高校 1 校）

1 4 日（土） 1 3 : 3 0 ～ / 1 5 日（日） 1 0 : 3 0 ～

- ・合唱
- ・吹奏楽
- ・学習成果発表
- ・少年の主張
- ・読書感想文
- ・英語発表

＜展示発表＞（小学校 1 校、中学校 1 0 校、特別支援学校 1 校、高校 1 校）

- ・絵画作品
- ・美術部、書道部などの部活動作品
- ・特別支援学校の共同制作
- ・学校自慢写真（市内小中特別支援学校・園と市立前橋高校のとおきのおきの一枚）
- ・教育資料館資料展示

＜ブース発表＞（中学校 2 校）

- ・学習成果発表
- ・茶道部の活動発表

＜学生ボランティア＞（中学校 3 校、高校 1 校）

- ・前橋こども図書館「リレーおはなし会」での読み聞かせボランティア
- ・ステージ発表の司会進行

※令和 8 年度は、市立前橋高校の JRC 部員からもボランティアの希望あり

＜マイ・チャレンジの発表＞（小学生 5 人、中学生 1 人）

- ・総合や探究の成果発表、個人の自由研究などの発表

＜合同開催＞

- ・第 7 3 回前橋市図工美術作品展（1 階 にぎわいホール）
- ・前橋こども図書館「リレーおはなし会」（2 階 前橋こども図書館）
- ・こども権利の日関連イベント（3 階 ホール他）

滝窪小金丸分校適正規模合同地区委員会報告書の提出について

1 適正規模地区委員会

(1) 概要

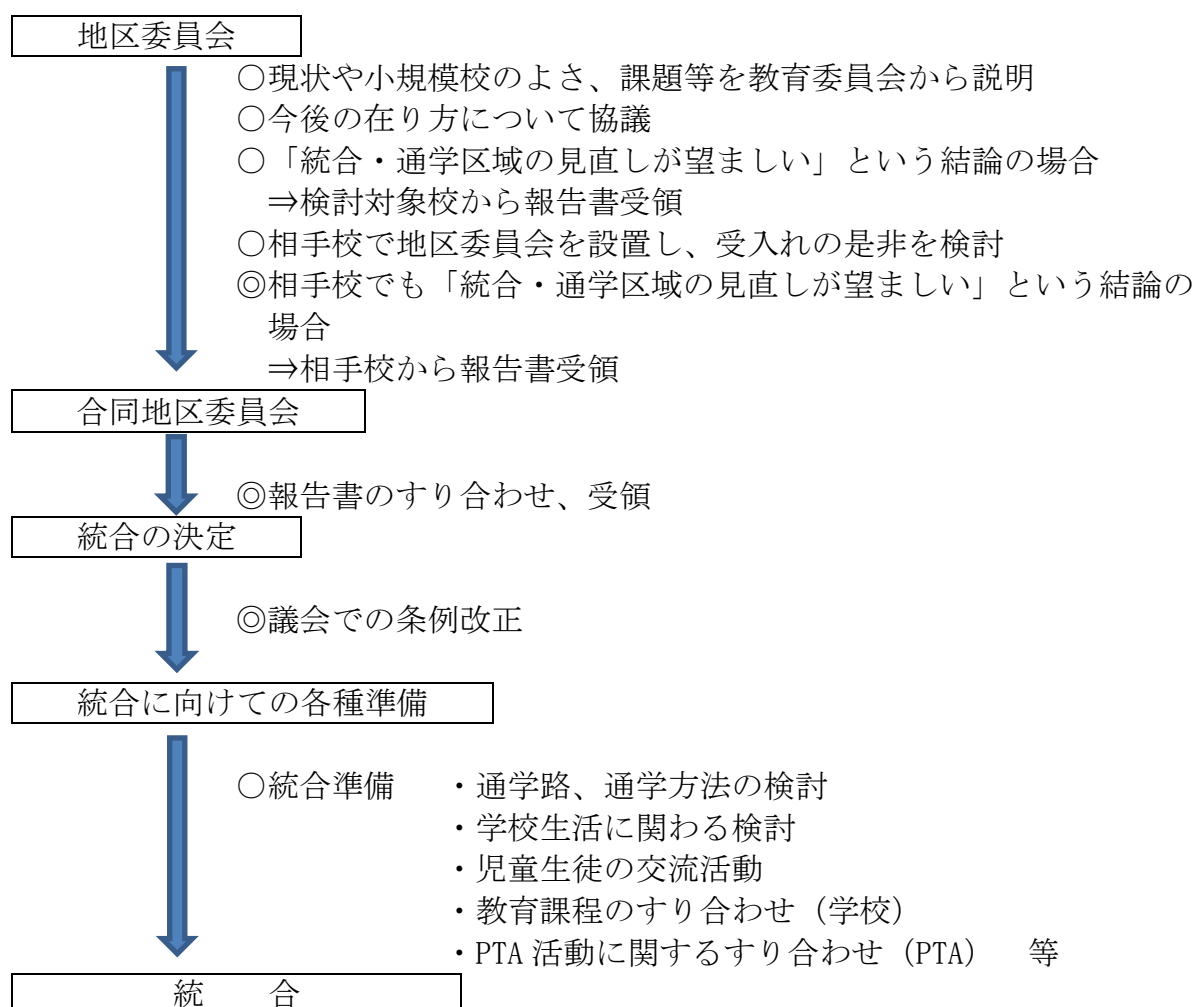
小規模の検討対象校 13 校（小学校 10 校、中学校 3 校）について、適正規模地区委員会を設置し、自治会や学校運営協議会委員の代表者、PTA や入学予定児童生徒の保護者の代表者など、様々な立場の方が地区委員会の委員になり、適正規模・適正配置について協議を行うもの。

(2) 検討対象校

中川小、若宮小、広瀬小、元総社南小、大室小、滝窪小、滝窪小金丸分校、月田小、石井小、白川小、芳賀中、宮城中、粕川中

2 適正規模地区委員会の流れ

○統合・通学区域の見直しをする場合の流れ

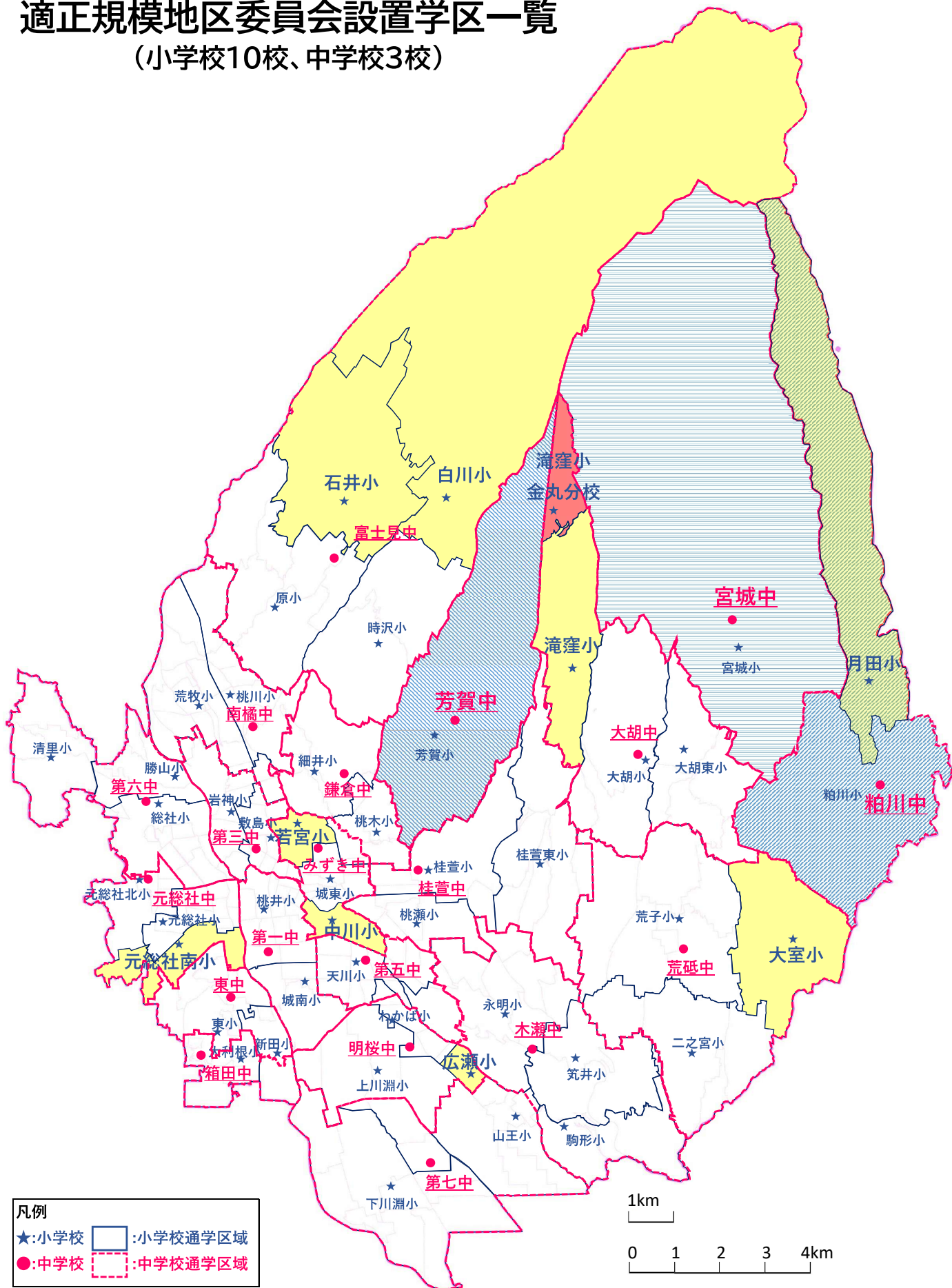


○現状維持の場合の流れ

地区委員会は解散せず、委員は年度で入れ替えを行いながら、年に何回か現状説明・意見交換の場を設け、継続して方向性を探っていく。

適正規模地区委員会設置学区一覧

(小学校10校、中学校3校)



令和 8 年 1 0 月 5 日

前橋市教育委員会

教育長 山 中 茂 樹 様

滝窪小学校・滝窪小学校金丸分校適正規模合同地区委員会

委員長 横 沢 教 匡

滝窪小学校・滝窪小学校金丸分校適正規模合同地区委員会の検討結果について（報告）

本委員会では、滝窪小学校適正規模地区委員会及び滝窪小学校金丸分校適正規模地区委員会での協議を踏まえ、両校が統合することを基本的な方向として適正規模化について検討してまいりました。

このたび、滝窪小学校及び滝窪小学校金丸分校の適正規模化についての本委員会の総意がまとまりましたので、下記により報告いたします。

記

1 滝窪小学校及び滝窪小学校金丸分校の適正規模化について

滝窪小学校金丸分校の児童数が著しく減少し、今後数年以内に教育活動の実施が困難な状況となることが予想されることを踏まえ、金丸分校のこどもたちがより充実した教育環境のもとで学習を行い、より豊かな人間関係を経験しながら成長していけるようにするためには、滝窪小学校（本校）と滝窪小学校金丸分校が統合することが望ましいと考える。

2 統合に向けた基本的な考え方について

両校の統合に当たっては、以下の基本的な考え方に基づいて統合することが望ましい。

（1）統合時期について

令和 9 年 4 月 1 日とする。

（2）統合校の設置場所について

統合校は、滝窪小学校（本校）の敷地（前橋市滝窪町 1 8 5 番地 1）に設置し、滝窪小学校金丸分校は閉校とする。

（3）統合校の校名について

統合校の校名は「前橋市立滝窪小学校」とする。

3 今後の統合の進め方について

市教育委員会及び市には、当委員会の報告を尊重していただくとともに、統合によって両校のこどもたちの教育環境が一層充実するようにご配慮願いたい。また、これまで両校の教育を支えてきた保護者や地域住民の思いや、両校が歩んできた歴史と伝統を十分に踏まえて、統合が進められるよう要望するものである。

なお、今後統合を進めるに当たって、具体的に検討すべき事項は以下のとおりであると考えている。これらについては、最終的には市教育委員会や市として、あるいは学校として決定されるものであるが、保護者や地域住民と学校関係者によって十分に検討、協議した上で決定していくことが重要であると考えている。今後も、保護者や地域住民による検討が必要な事項については、引き続き本委員会において協議を進めていきたい。

【具体的検討事項】

- (1) 金丸分校児童の通学方法について
- (2) 統合後の児童の心のケアに配慮した教職員の異動や専門的職員の配置について
- (3) 金丸分校の歴史と伝統の継承に配慮した統合後の教育活動について
- (4) 統合に伴う児童や保護者の負担の軽減について
- (5) 閉校後の金丸分校の施設（校舎・校庭等）の利活用について

おわりに

両校の地区委員会及び本合同地区委員会においては、「こどもたちのよりよい教育環境の整備」という観点で、こどもたちのことを第一に考え、各委員が意見を出し合いながら検討を重ねてまいりました。そして、両校が刻んできた長い歴史と伝統の中、さらには、保護者や地域住民の学校への熱い思いの中、各委員が悩みながら金丸分校の閉校という重大な決断をいたしました。

市教育委員会及び市におかれましては、こうした思いでまとめられた本報告書について十分にご理解をいただき、両校のこどもたちの教育環境がより充実したものとなるために、今後ともご尽力いただくようお願いするものであります。

前橋市高校生学習室運営業務に係る公募型プロポーザル実施について

生涯学習課

1 プロポーザル実施の理由

前橋市高校生学習室の運営については、業務の円滑化・効率化を図るため、民間委託を実施している。現在の委託契約にかかる優先交渉者は令和 8 年度末をもって期間終了となるため、令和 9 年度以降も民間委託を継続し、プロポーザル方式による選考を実施する

2 対象施設

前橋市高校生学習室（前橋市表町二丁目 3 0 - 8 アクエル前橋 2 階）

3 委託期間

令和 9 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日（3 年間）

4 今後のスケジュール

プロポーザル公告日	令和 8 年 1 0 月 1 日（木）
現地説明会	令和 8 年 1 0 月 9 日（金）
提出書類受付期間	令和 8 年 1 0 月 1 9 日（月）～ 1 0 月 2 8 日（水）
一次審査	令和 8 年 1 1 月 2 日（月）
二次審査	令和 8 年 1 1 月 1 6 日（月）
二次審査結果通知	令和 8 年 1 1 月 2 5 日（水）
二次審査結果公表	令和 8 年 1 1 月 3 0 日（月）
契約締結	令和 9 年 4 月 1 日（木）

人生100年時代

～社会教育士を知る集い～

「学び」は、私たちの日々の暮らしの中に息づいています。

学ぶ人、学ぼうとする人たちの関係を耕し、お互いが共感できる良き存在として認めあう地域コミュニティを育んでいくため、社会教育に関わる「人材と役割」について考えます。

2026.11.29(日)

中央公民館 3階

(ミヤケン元気21 前橋市本町2-12-1)

▶12:00～ ホール前ホワイエ

ワークショップ・展示

前橋市教育委員会社会教育主事(土)ワーキングチーム、放送大学ほか

▶13:30～ 3階ホール(受付開始 13:00～)

要申込

基調講演 13:35～

社会に「信任」をつくるー社会教育のビジョンと人づくりー

牧野 篤 氏 大正大学地域創生学部 教授・東京大学 名誉教授



パネルディスカッション 14:40～

ファシリテーター

茂木 勇 氏 埼玉工業大学教授

パネラー

牧野 篤 氏 基調講演

林 剛史 氏 文部科学省

田中 美貴子 氏 フリーナレーター

申込フォーム▶

2026.11.20締切



問い合わせ

前橋市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育係

前橋市本町2-12-1 ミヤケン元気21 3階 電話: 027-210-2198

ワークショップ・展示

①社会教育主事ワーキングチーム（前橋市教育委員会）

〔テーマ〕誰かにつながる 地域とつながる 社会教育士
～あなたの近くで活躍しています～

- ・体験：地域資源カードで、人・地域・学びをつなごう！
- ・展示：はじめまして？～社会教育主事（士）の活動紹介～

②放送大学で社会教育士を目指そう

「いつでも、どこでも、誰でも学べる」をモットーに、質の高い生涯学習の機会を提供する通信制大学。社会教育士を目指す方を応援します。

③ホンモノのパーソナリティが登場！ラヂヲ実況中継ふうインタビュー

パーソナリティの「むーちゃん」こと青柳美保さんと社会教育士のさわかボイス市職員がコラボ！むーちゃんと一緒に「社会教育士」を知ろう！

「社会教育士」とは

学びを通じて人や地域をつなぐ「学びのオーガナイザー」として地域課題の解決や豊かな社会づくりを支援する専門人材です。



社会教育士

基調講演／パネラー：牧野 篤 氏 大正大学地域創生学部 教授・東京大学 名誉教授

愛知県生まれ。名古屋大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。名古屋大学助教授・教授を経て、2008年より東京大学教授。2025年に定年退職の後、現職。中央教育審議会生涯学習分科会、同社会教育人材部会、同社会教育の在り方部会委員など歴任。

専門の研究領域は、社会教育学・生涯学習論で、人が生活の営みを続け、成長していくことに現れるさまざまな事象を通して、社会のあり方を考え、人が幸せに暮らすために何ができるのかを考えること、とくにコミュニティの自律と住民の学習とのかかわりに関心がある。

主な著作：『発達する自己の虚構—教育を可能とする概念をとらえ返す』（東京大学出版会、2021年）

『公民館を再発明する—小さな社会をたくさんつくる・3』（東京大学出版会、2024年）

『社会教育士はなぜ生まれたのか—自治の土壌を豊かに耕す—』（大学教育出版、2026年）

『自己が在るとはどういうことか—学びの可能性を考えるために』（東京大学出版会、2026年）など多数

ファシリテーター：茂木 勇 氏 埼玉工業大学学長補佐（地域連携・地域貢献） 人間社会学部教授

群馬県太田市出身。慶應義塾大学卒業後、銀行勤務を経て前橋市役所に入職。勤務の傍ら東京工業大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。2018～2020年桂萱公民館長。2021年から群馬大学非常勤講師。2025年4月から現職。

前橋市社会教育委員会議委員（副議長）、同市社会教育アドバイザー会議委員、深谷市公共施設適正配置計画検討委員会（委員長）。現在、伊勢崎市の和菓子店、市役所、所属大学との連携により、若者の声を活かしながら、世界遺産「田島弥平旧宅」関連の銘菓開発に挑戦中。

パネラー：林 剛史 氏 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 社会教育企画調整官

群馬県みどり市出身。県立前橋高等学校卒。大学では社会教育を専攻。2004 年文部科学省入省。静岡県教育委員会、国立教育政策研究所学力調査課長等を経て2025 年 4 月から現職。

国の教育政策の企画・立案を担当する傍ら、東京と群馬との二拠点生活により故郷・みどり市の地域振興にも取り組む。2025年度社会教育主事講習[B]を群馬会場で受講し、社会教育士の称号を取得。推しのみどり市グルメは、双葉食堂のホルモン焼きと新川食堂のNo.1ラーメン。

パネラー：田中 美貴子 氏 フリーナレーター

群馬県前橋市出身。前橋市役所在職中に社会教育主事講習修了。城南公民館では少年教室「音楽物語～音楽と朗読と大きな紙芝居～」を企画。構成、シナリオ、紙芝居の絵、朗読を自ら担当。プロの音楽家による演奏も評判となり、市内外の公民館から依頼がある。2023年から前橋市総合福祉会館にて「バリアフリーな音楽物語」を開催し、参加者は毎回200人を超える。

2022年度から群馬大学共同教育学部社会教育実践研究Ⅲにゲスト講師として毎年登壇。若者に社会教育の魅力を発信している。